

職業研究

2019

No. 3

特集 ●しごととインタビュー

システムエンジニア ●多くの人が利用する情報システムの構築に注力

作業療法士 ●違う特性をもつ患者に寄り添い、効果的なリハビリを目指す

通関士 ●貿易の最前線で、日々さまざまな輸出入品目に向き合う

土地家屋調査士 ●測量、登記によって物事の問題を解決していく

レーザー加工機オペレーター ●高精度レーザー微細加工技術の歩みとともに

■連載

わが社の人材開発 UTエム株式会社

企業研修の現場から 田沼泰輔

職業能力開発の現場から 我孫子高等技術専門校(ちばテク我孫子校)

キャリアセンター通信 群馬県立女子大学

キャリア指導の現場から 千葉吉裕

スクールカウンセラー風便り 金屋光彦

キャリアカウンセリングの現場から 佐藤寿子



特集 しごとインタビュー

本誌連載の「しごとインタビュー」コーナーでは、それぞれの職業に従事されている各界の方に日々の仕事や働き方の実際、仕事に対する心構え、やりがい、職業観などをお聞きし、ご自身の経験に基づいたお話をご紹介します。今号では、特集として5人の方の「しごとインタビュー」を集めました。

特集

- しごとインタビュー ————— 3
- システムエンジニア —— 日本電気株式会社 側高幸治さん
多くの人が利用する情報システムの構築に注力 ————— 4
 - 作業療法士 —— 東京大学医学部附属病院 野口智子さん
違う特性をもつ患者に寄り添い、効果的なりハビリを目指す ————— 6
 - 通関士 —— 株式会社阪急阪神エクスプレス 片岡照美さん
貿易の最前線で、日々さまざまな輸出入品目に向き合う ————— 8
 - 土地家屋調査士 —— 土地家屋調査士法人井口工務所 井口雄介さん
測量、登記によって物事の問題を解決していく ————— 10
 - レーザ加工機オペレーター —— 株式会社リプス・ワークス 小俣恵一さん
高精度レーザ微細加工技術の歩みとともに ————— 12

連載

- わが社の人材開発
多彩なサポートとキャリア形成制度で、
労働者本位の環境を実現
U T エイム株式会社 ————— 16
- 企業研修の現場から 10-2
人材マネジメントのパラダイムシフトに向けて
(2)「合理的配慮」が示唆するもの
田沼泰輔 株式会社ダイバリティ総合研究所 代表 ————— 17
- 職業能力開発の現場から
開設から54年、千葉北西地域の公共職業能力開発施設
我孫子高等技術専門校(ちばテク我孫子校) ————— 18
- キャリアセンター通信
三位一体のキャリア支援で社会に羽ばたく女性を育成
群馬県立女子大学 ————— 19
- キャリア指導の現場から⑩
虐待をなくせ！
千葉吉裕
東洋大学経営学部 非常勤講師 / 公益財団法人 日本進路指導協会 理事・調査部長 ————— 20
- スクールカウンセラー風便り 第42回
家庭崩壊の真相
— 子どもたちの自己肯定感を考える その7 —
金屋光彦 東京都スクールカウンセラー (公認心理師 / 臨床心理士) ————— 21
- キャリアカウンセリングの現場から 25-2
“なりたい自分”を実現するために向き合うこと
佐藤寿子
専門学校日本デザイナー学院 / 日本写真芸術専門学校 学生課キャリアセンター
2級キャリアコンサルティング技能士 / 国家資格キャリアコンサルタント ————— 22



表紙写真 ●レーザ加工機オペレーターの小俣恵一さん(株式会社リプス・ワークス)
レーザ加工した製品の形状出来栄や形状寸法、ピッチ寸法などを顕微鏡で検査する。倍率は最大1,000倍、測定最小値は0.1ミクロンメートル(0.0001ミリ)。

読者アンケート & 当会発行図書プレゼント!

編集部では、今後の誌面作りに役立てるため、読者の皆様の声をお待ちしております。WEB アンケートへご協力いただいた方に、ご希望の図書を差し上げます。詳しくはこちらにてご覧ください。

<http://www.koyoerc.or.jp>

QR コードからもアクセスできます。
(一部の携帯電話は対応していません。ご了承ください。)



しごととインタビュー

進路選択やキャリア形成のためには、「職業理解」が必要です。

職業について何も知らないのであれば、自分がどのような仕事に就きたいか、どの企業に入社したいか、どのようなキャリアを積んでいったらよいか——などもわからないでしょう。

職業理解のための情報には、その内容や情報源、媒体・伝達方法などにおいて様々なものがあります。「しごととインタビュー」では、その仕事に就き、働いてこられたご本人ならではの仕事の世界を垣間見ることができるはずです。

「職業」や「しごと」の一側面を知るための情報の一つとして、教育機関、職業訓練機関、職業紹介機関、企業等の関係者の方々に、若年者や求職者、在職者等の支援の参考としていただければ幸いです。

参考

キャリア・ガイダンス、
キャリアコンサルティング
の6分野
(キャリア形成のための
6つのステップ)

1 自己理解	進路や職業、キャリア形成に関し、クライアントが「自分自身」を理解するよう援助すること
2 職業理解	進路や職業、キャリア・ルートの種類と内容を、クライアントが理解するよう援助すること
3 啓発的経験	選択や意思決定の前に、クライアントがやってみることを支援すること
4 カウンセリング	必要なカウンセリングを行い、選択や意思決定を行うことを援助すること
5 方策の実行	進学、就職及びキャリア・ルートの選択など、意思決定したことを実行するよう援助すること
6 追指導・職場適応	それまでのガイダンスとコンサルティングを評価し、クライアントの適応の援助を行うこと

進路選択、キャリア形成
における職業理解の
位置づけと一連の流れ

1	自分の興味や関心、適性を明らかにして、どのような人生を送りたいかを決める。職業に就く目的を明確にする。
2	産業や職業について、幅広く情報を集め、理解を深める。
3	希望する職業の内容について吟味する。
4	自分の興味、関心、適性及び希望などとの関わりについて吟味する。
5	その職業に就くための教育機関や職業能力開発機関、具体的求人事業所、職場内の配置先等を選択し、その条件や内容を調べる。
6	選択した教育機関、能力開発機関、事業所等に応募し、採用選考を受ける。

一般的な
職業情報の
内容

1	仕事の責任と内容
2	作業環境と条件
3	従事者の資格・要件
4	社会的、心理的要因
5	入職のための必要条件
6	その他の特別な必要条件
7	入職の方法
8	賃金その他の手当
9	昇進の可能性
10	雇用の見通し
11	経験や探索の機会
12	関連職業
13	教育、訓練の資源
14	追加情報の資源

*木村 周「キャリア・コンサルティング理論と実際 5訂版」より

多くの人が利用する 情報システムの構築に注力



そばたか・こうじ ● 1974年東京生まれ。大学の理工学部に進み、その後大学院で暗号を研究する。1999年日本電気株式会社（NEC）入社。ネットワーク関連の部署を経て、暗号のソフトウェア開発に携わる。その後研究所勤務などを経て、現在自治体向けのシステムを構築する公共システム開発本部でプロジェクトマネージャーを務める。

インタビュー

システムエンジニア

側高幸治さん

日本電気株式会社
公共システム開発本部
プロジェクトマネージャー

側高さんは「技術で社会を支える仕事をしたい」と大学院で暗号の研究に携わり、システムエンジニアとして多くの情報システムの構築に携わってきました。お話からは「自らの技術で情報化社会を支えたい」という強い自負心がうかがえます。

多岐にわたる システムエンジニアの仕事

——前から技術系のお仕事に就こうと思われていたのですか。

側高 高校生のときから理科系の科目、とりわけ数学が好きでしたね。やがて、技術で社会を支える仕事をしたいと考えるようになりました。次第に電気関係の仕事を通してそれができないかと考えるようになり、大学に進学する際には、電気電子工学科を選びました。

——大学院に進んでいらっしやいますか、どんなことを研究されていたのですか。

か。

側高 暗号の研究をしていました。暗号は、交通機関の乗車カードやネットワークショッピングをはじめ、さまざまな場面で情報をやり取りする際に使われています。暗号は、いまの世の中を裏側から支えているといっても過言ではありません。学部の学生だったころからそのことに大きな関心を持っていて、大学院でより深く研究したいと思ったのです。

——そうした研究で得た知識を生かせる仕事を選ばれたわけですね。

側高 企業の研究所で仕事をしたいと思ったのですが、現実には難しかったですね。NECに入社して最初に配属されたのは、ネットワーク関連の部署でした。でも、暗号の仕事をするということをあきらめたわけではありません。その後「暗号の仕事をしたい」と訴え続けました。当時、当社には上司の承認なしに自分が希望する部署へ応募できるという制度がありました。行きたいと思っていた部署が社内の人材を公募しているの知って、1年目の秋に応募し、希望がかないました。入社1年目でこの制度を利用したのは、私が初めてだったようです。

新たな部署で暗号関係のソフトウェア

アをつくり、その後、研究所に移って7～8年あまり研究を続けました。現在は、自治体をお客様とする公共システム開発本部で仕事をしています。
お客様の本当のニーズを把握し、それに応えるシステムをつくり上げる

——システムエンジニアとは、どんな仕事をしているのか、一般にはあまり知られていないようです。システムエンジニアの仕事の内容について教えていただけますか。

側高 システムエンジニアの仕事はひと言で言うなら、情報システムをつくり上げることで、その内容は多岐にわたります。

まずはどういうシステムをつくるのかという企画の仕事があります。それにはまずお客様のご要望を伺い、どんなシステムが必要なのかを把握します。これをシステムエンジニアの世界では、「要求分析」と言います。さらに、それを実現するためにはシステムにどのような機能をつければよいかを考えます。これが「要件定義」と呼ばれる工程で、お客様のご要望をシステムに落とし込んでいく仕事です。そしてシステムの概要を設計する基本設計と移ります。さらに、機能を実現するための細かな設計を行う詳細設計と続きます。もちろん、それぞれの段階でお客様のご承諾を得なければなりません。

その後、詳細設計に基づいてシステムのプログラミングを行います。プログラムができると、システムが正しく



側高さんは、お客様のニーズを的確に把握し、それをどのようにしてシステムに落とし込んでいくかが重要と語る。プロジェクトマネージャーとして、システム構築の全体を把握し、的確な指示を出す。

動作するかどうかのテストをします。このテストをおろそかにすると、稼働した後でシステムが止まってしまいう危険性もあります。さまざまな条件でのテストを積み重ね、最終的に大丈夫となったら、お客様へ納品するわけです。

——そうした一連のお仕事の中で、側高さんが心がけていらっしゃるのとはどんなことですか。

側高 私 が最も重要視しているのが、「要件定義」です。お客様はシステムやコンピュータのプロではありませんから、さまざまな要望を出されます。それをすべて聞き入れたシステムをつくと、「こんなはずじゃなかった」ということがよくあるのです。大切なのはお客様の要望を言葉通りに受け取るのではなく、ほんとうに望んでいるのかを把握することです。「こういう機能がほしい」とおっしゃっているけれど、実はこういうことなんじゃないか、システムエンジニアとしてどうすればよいか、を常に考えています。また、納品した後の保守も大切です。しっかりとしたシステムをつくらないと、保守が大変なことになってしまいます、お客様にご迷惑をかけることにもつながります。保守の負担を軽減することを視野に入れながら、システムをつくることを忘れてはいけません。

自分が考えたシステムを多くの人が利用する喜び

——お仕事の面白さややりがいを感じるのとはどのようなときでしょうか。

側高 自分が考えたシステムが世の中に出て行って、システムが動いているときですね。何万人、何十万人という方が、そのシステムを利用してくださるといふときの嬉しさは格別ですね。——現在は自治体向けのシステムをつ

くっていらっしゃるのですか。

側高 自治体向けのシステムは、区民や市民の情報を扱うことになりました。そのため、ウィルスをはじめ悪意を持ったソフトウェアからの攻撃から、しっかりとデータを守る必要があります。企業のシステムのように限られた範囲で使われるものは保守もしやすいんです。でも自治体のシステムのように不特定多数の人が利用するものは、保守にもいっそうの配慮が必要となります。

私は、総務省の方たちと自治体のシステム導入に関するルールづくりに関わりました。自分が携わってつくったルールに従って自治体がシステムを導入してくださるといふのは、喜びの一つです。また、自治体の担当職員の方から「あなたの説明がわかりやすかったから導入を決めた」とおっしゃっていただいたときも、嬉しかったですね。——お仕事の厳しさや難しさはどんなところでしょうか。

側高 どこまでセキュリティを高めるかということですね。システムというのは、事故がなく安全に動いて当たり前と思われています。また、セキュリティ対策を厳重にすればするほど、使い勝手が悪くなってしまうことになりま。多くの方は使い勝手のよさに注目しがちです。そのため、セキュリティ対策の重要性について、なかなかご理解をいただけないというもどかしさのようなものがあります。そんなときはある限り、セキュリティの重要性をご説明し、お客様との一致点を見出す

ように努めます。

——システムエンジニアに必要な資質とはどんなことでしょうか。

側高 1つには、どんな困難にあっても投げ出さずに最後までやり遂げるという粘り強さが大切ですね。また、ものごとを論理的に考えたり、話したりできるということも必要な資質と言えるでしょう。コンピュータというのは理路整然と動くので、論理的思考ができるといふことは重要です。

——システムエンジニアを目指す若い方たちへのアドバイスをお願いいたします。

側高 よく、システムエンジニアは大変な仕事だという声を耳にします。でも、システムエンジニアに限らず、どんな仕事にも大変さはあるのではないのでしょうか。大変だからといって、その仕事に就くのをあきらめるのはもったいないと思います。その大変さを経験し、乗り越えたときの喜びは格別です。

自分がつくったシステムをたくさんの方が使ってくださるといふのは、とても嬉しいことです。システムエンジニアを目指す方が実際の仕事を担うようになって、是非その醍醐味を味わっていただきたい。

当社は規模が大きいだけに、システムエンジニアの仕事もさまざまな種類があります。お客様と折衝する者もいれば、主にプログラマーとして活躍する人物やシステムの設計を担当する者もいます。システムエンジニアになりたいという人がいれば、その方に適したステージを用意できると思います。

違う特性をもつ患者に寄り添い、 効果的なりハビリをを目指す



のぐち・さとこ ● 1989年愛知県生まれ。中学生のときから「人と関わる仕事をしたい」と考え、やがて作業療法士の仕事に関心を抱く。大学で作業療法学を専攻し、卒業後、東京大学附属病院で作業療法士として勤務。

インタビュー

作業療法士

野口智子さん

東京大学医学部附属病院
リハビリテーション部

野口さんは、患者さん自身がリハビリテーションと向き合うことが大切だと話します。そのために患者さんとのコミュニケーションを心がけ、一人ひとりに見合ったプログラムを作成し、さまざまな作業療法を通して、機能回復や日常生活の動作改善を支援しています。

「人と関わる仕事をしたい」という
思いから、作業療法士の道へ

——作業療法士という仕事に就かれるには、何かきっかけなどはありましたか。

野口 中学生のとき、将来の仕事がテーマとした授業があって、自分は将来どんな仕事に就くのだろうかと思いをめぐらせました。以前から人と関わり、コミュニケーションをとったりする仕事をしたと思うていました。例えば、通訳の仕事に魅力を感じ

ていたときもあります。

ある日、新聞でリハビリテーションの特集記事を読んで、世の中には作業療法士という仕事があるということを知りました。それが自分の仕事の選択肢として作業療法士を考えるきっかけだったかもしれません。考えてみれば、作業療法士の仕事も人と関わりますよね。また作業療法士など医療関係の仕事に就けば、人の役に立てるのではないかとこの思いもありました。

——中学のときから、将来は作業療法士になろうと思われていたということですか。

野口 そのときは、それほどはっきりと意識していたわけではありません。高校生になって、受験勉強をするようになり、自分の進路について真剣に考えるようになりました。そこで自分の進む道を決め、大学の作業療法学専攻に進みました。

作業療法士の仕事をするには免許が必要ですが、だから、その免許を取得すれば、結婚してもずっと仕事ができるのでは、という思いもありましたね。

——大学での勉強は大変でしたか。

野口 高校生のときから先生など周囲の方から「医療系は大変だよ」と聞いていたので、ある程度の覚悟はあったつもりでしたが……。人間の身体の繊

細さや複雑さ、多種多様な機能などに驚くとともに、覚えることが多くて、必死に学びました。確かに大変でしたが、今から振り返ると、大学で学んだことが、今自分が仕事に向き合うときのベースになっていると感じます。

——大学で学ばれたことと、実際の仕事に就いたときのギャップのようなものはありましたか。

野口 大学では実習があるとはいえ、知識を学ぶことが中心でした。仕事ではそれを生かしながら患者さんとともにリハビリテーションを行うことになります。患者さんはそれぞれ持っている機能や性格、それまで生きてきた歴史や家族との関係も異なります。そうした中で、リハビリの目標を探していく難しさがあります。お一人おひとりに見合った目標を立てるには、知識だけでは対応できず、人としつかり対話するというコミュニケーション力が求められます。

患者さんとともに効果的なり
リハビリテーションを目指す

——作業療法士という仕事は具体的にどんなことをするのですか。

野口 作業療法分野でいう作業とは、日常生活における活動すべてを意味します。そこでは料理や食事、排泄、着替え、趣味活動などさまざまな活動をリハビリに生かして患者さんたちをサポートし、よりよい生活を送っていただけのことを目指します。

——よく似ている職種として理学療法士がありますね。



▲リハビリテーション室には患者さんたちの作品を陳列している。作業療法士が作成したプログラムに基づいて、陶芸や工芸などのものづくりを通して機能の回復を目指す。(左) 作業療法士は、患者さんの特性に応じて自助具をつくることもある。その際に使われるのが、熱を加えるとやわらかくなり、冷えると固まるスプリント材と呼ばれる素材。(中) 左端は筋電義手で、筋に伝わる微弱な電流を感知して動く。上のパーツ類は作業用義手で、用途に応じて使い分ける。下は外観を重視した装飾用義手。(右)

◀「パーデュールベグボード」と呼ばれるボードを用いて、手先の器用さなど上肢機能の状態の評価（ベグテスト）を行う。

野口 一般に作業療法士の仕事は、日常の活動や動作を取り入れたリハビリテーションによって機能の回復を図ることとされます。理学療法士は、運動療法や物理療法を用いて機能の回復を目指す仕事と言われています。しかし、病院によってもそれぞれの位置づけは違います。当院の身体障害領域の作業療法士は、理学療法と重なる部分もありますが、主に上肢・体幹機能とADL、高次脳機能、義肢装具に対するリハビリテーションを行っています。高次機能障害は記憶障害、注意障害、空間認知などが多いです。

——具体的にどのような仕事を進めていくのですか。

野口 当院にはリハビリテーション専門医がいます。その専門医の処方箋を確認し、患者さんと一緒にリハビリのプログラムを立てていきます。またそのプログラムや患者さんの症例などを同僚たちとのミーティングで報告し、いろいろなアドバイスを受けます。また、病棟の看護師さんとの連携も欠かせません。同僚や看護師さんたちと連携しつつ、基本的には患者さんと一対一でリハビリを進めていきます。

リハビリの内容は、お一人おひとりによって違います。例えば手の機能が十分でなく、食事をするのが困難な患者さんには、どのような箸やスプーンを使えばよいかを一緒に考えます。適した自助具を考えてつくることも作業療法士の仕事です。患者さんの特性に応じて、一緒に陶芸をしたり、編み物をしたりするときもあります。もの

づくりも重要な作業療法で、一緒に万華鏡やモザイクタイルなどをつくることもあります。これらは機能の回復や動作の改善を目指すリハビリでもありますが、同時に作業に没頭することでこれまでのつらさから解放されるといふことでもあるのです。

——そうしたお仕事の中で、どんなことを心がけていらっしゃいますか。

野口 リハビリを行うときには患者さんの気持ちがとても大切です。私がプログラムをつくり、目標を立て「こうしよう」と言っても患者さんの気持ちがあるところに向かないと、効果的なりハビリはできません。だからこそコミュニケーションが大切で、十分な意思の疎通をすることを心がけています。

——お仕事のやりがいや面白さはどんなときに感じますか。

野口 患者さんと向き合い、一緒にリハビリを進めていく中で、それまでできなかったことができるようになったときです。それは患者さんにとっても特別な瞬間で、私自身もとても嬉しくなります。特に子どもたちが『できた！』と笑顔で見せてくれると、「この仕事をしていてよかった」と心から思いますね。

——お仕事の中で厳しさや難しさを感じるのとはどのようなときでしょうか。

野口 患者さんがどんなにがんばってリハビリテーションに励んでも、できないことがあります。進行性の病気の場合、機能がそれ以上悪化しないようにするのが精一杯で、回復が困難な場合もあります。また、金銭や家族の間

題があつて、私ではどうしようもないときもあります。何か力になれることがあればと患者さんやご家族と一緒に探しますが、それができない…というもどかしさがあります。そのときは、作業療法士だけでなく地域の方など他の職種とも連携をすることを心がけています。

——これから作業療法士を目指す若い人たちにアドバイスをいただけますか。

野口 作業療法士を目指す方は、まず仕事の内容やリハビリテーションについて自分で調べていただけたらと思います。また、オープンキャンパスに行ったり、そこで教員の作業療法士に質問したり、実際に働いている現場を見学するのもよいと思います。

私は現在、0歳から99歳までと幅広い年齢層の患者さんを担当させてもらっています。患者さんが歩んできた人生はそれぞれで、これから人生を歩み出そうとする子どももいます。このように作業療法士は、いろいろな方と出会えて、さまざまな経験をさせてもらえる仕事だと思います。そしてその出会いが、自分の成長にもつながっていると日々感じています。

作業療法士の職場は病院だけではなくありません。福祉・介護施設や学校、一般企業で活動している作業療法士もいます。きつと自分に向いている場所を見つけていけるとおもいます。人と関わるのが好きな方、物をつくるのが好きな方、患者さんとともに歩むことができる方は是非、作業療法士を目指していただけたら嬉しいです。

貿易の最前線で、日々さまざまな輸出入品目に向き合う



かたおか・てるみ●1969年東京生まれ。1989年短大卒業後、当時の阪急交通社*入社。1991年通関士試験に合格、3年後に通関士登録される。阪急阪神エクスプレスで現在、輸出通関に携わる。日本通関業連合会の全国女性通関士会議にも参画し、通関士の認知度向上にも取り組んでいる。中学生、小学生の二児の母でもある。

旅行部門志望から「通関」へ

—このお仕事に就かれるまでの経緯を教えてくださいませんか。

片岡 短大で貿易英語を学んでいました。就職活動では、実は旅行部門に行きたいと思って阪急交通社を受けたのです。会社の業務として国際輸送部門と旅行部門の二つがあるということでしたが、国際輸送というのは正直ピンと来なかったですね。

—そのときに通関士というものはご存じでしたか。

片岡 いいえ。入社して国際輸送部門に辞令が下り、研修時に仕事の内容が

わかり、通関士という国家資格があるということを知りました。配属されるまではやはり旅行の仕事をやっていたのですが、辞令が下りてからは通関の道を進んでいこうという気持ちになっていましたね。以後今まですつと通関の仕事をしています。

入社3年目に通関士試験を受け、合格しました。今まで一番勉強しましたね。一度で受かるというのはなかなか難しいので、周りは少し驚いたみたいです。私の入社当時は女性がまだ少ない時代で、社内では女性通関士第2号でしたが、全社的な通関士の数は多かったのですが、目指す道があると思っていました。

通関士試験に合格してもすぐには通関士にはなれず、「通関士資格保有者」です。そこから社内で力量を見ながら通関士として十分業務ができるという判断をされ、税関に登録してもらって初めて通関士になります。私は入社3年目で試験には合格しましたが、それからさらに3年間実務経験を積み、登録に至りました。試験の合格のときにもまして嬉しかったのですが、責任も感じましたね。

—通関士というのはどのようなお仕事なのでしょう。

片岡 輸入・輸出をするときは、貨物の品名、種類、数量、価格などを税関に申告して必要な検査を受け、輸入の

場合にはさらに関税や内国消費税を納付し、許可を受ける必要があります。申告は輸出入者が自ら行うこともできますが、手続きは専門的知識を要するので、当社のような通関業者に委託されるのがほとんどです。税関への輸出入通関手続きを代行する通関業者は、通関士を配置することが義務づけられていて、通関士は通関書類の審査をして記名押印(電子情報処理組織《通称：NACCS》)による申告にあっては、通関士識別符号を入力し、その申告に責任を持ちます。

私は輸出を担当していますが、輸出处から入手する通関の書類には、さまざまな品目(品名)が書いてあります。それぞれの品目には税関に申告するための品目番号が決まっています。輸出統計品目表などを参照しながら所属区分に見合った品目番号を決定し、申告価格の計算をして輸出申告書を作ります。

また、貨物を輸出する際にはさまざまな規制があり、経済産業大臣の許可・承認が必要になる物もあるので、それに該当しないかどうかも確認します。送り先が、例えばイラン、イラク、北朝鮮など特定の国である場合は、そのための必要書類が揃っているか、それらと輸出貨物が合っているかをチェックします。そして、申告の要件がすべて整った時点でコンピュータに入力し、税関に申告データを送信します。

輸出入されるさまざまな物

—対象となるのはあらゆる物に及ぶというわけですね。

片岡 取り扱う貨物の品目は実にさま

インタビュー

通関士

片岡照美さん

株式会社阪急阪神エクスプレス 東日本通関部京浜通関支店
輸出通関センター 通関一課二係長

通関士という仕事は、あまりよく知られていない面も多いようです。通関士は通関業者に所属し、輸出入者から依頼を受けて税関への輸出入通関手続きを行います。片岡さんはベテラン通関士として常に新しい法律や商品情報の収集に努めるとともに、通関士の認知度向上の活動にも力を入れています。



通関士は輸出入申告に責任を持っている。申告書には通関士識別符号も記載されるため、どの通関士が申告したかがわかる。

▼日々の業務で使う輸出統計品目表、関税六法など。



さまざま、電子部品、電化製品、玩具、アパレル、自動車、生鮮品、動物、そのほかこの世に存在するあらゆるものと言っている。それらをすべて品目番号にあてはめて申告しなければなりません。見た目は同じものであっても材質によって違う品目番号になりますので、どれが正しいのかを判断してその

品目番号を決めるのが大変です。

輸出申告は、申告と同時に許可されるもの(簡易審査)と、税関が書類を審査してから許可されるもの(書類審査)、また貨物を検査してからでないと許可されないもの(貨物検査)があります。貨物検査となった場合は、例えば申告した税関が成田航空貨物出張所であれば、成田空港の当社通関営業所の担当者へ検査の立ち会いを依頼します。

以前は、千葉県市川市原木の税関の近くに通関営業所があり、税関の通関窓口まで書類を提出しに行っていました。貨物を置いている場所が近く、実際の貨物を自らの目で見て内容点検をして申告していたので、商品知識の勉強にもなりましたね。今は貨物のある場所と通関営業所が離れていて貨物を見る機会が少なくなりましたが、

——どのような点にご苦労されますか。

片岡 通関手続きをお客様の代理としてやらせていただいているわけですから、税関から申告内容の説明を求められて税関の窓口に向くこともありま

す。カタログ等を取り寄せて商品の詳しい説明をすることもありますね。

航空貨物の場合は、フライトのスケジュールとの関係で時間との闘いになることもあります。すごく大きな貨物を当日の便に載せなくてはいけない場合、出発の2、3時間前には許可が下りていないと搭載が間に合わないで、時間配分が大事になってきます。その航空機に載せられないとスペースに穴を空けてしまうことになります。

通関士は、いかにお客様の商品についての知識をきちんと持っているかが問われます。税関に的確に説明して納

得してもらうことによって、スムーズな輸出ができる。輸出できずに商品が止まってしまつては困るわけです。

今当課には、通関士と通関従業者が15人ほどいるんですが、1日200件〜300件、多いときは約700件の輸出申告に対応します。優先順位をつけて、いかに要領よく処理するかですね。課内の連携が不可欠です。

また、新しい商品というのは、それまで見たことも使ったこともないので、一から調べてどの品目番号に該当するかを判断していきます。カタログを入手し、ネットで検索してもその判断が難しい場合があります。いくつかの候補のうち、どれに当たるかを上司に相談したり、事前教示の実績が載っている税関のホームページを参考にしたりし、どうしても判断が難しい場合は、税関に照会したりします。

常に新しい情報を取り入れていく必要があるのですが、ニュースなどで政治・法律関係の情報を常に頭に入れるようにしています。また、外に出かけたときに、例えば車の備品を見たら品目番号の所属区分を思い浮かべたり、日々の生活でも新しいものがあつたら、同じようにこれはどこに当てはまるのかなど考えたりもしていますね。

——どういう点にやりがいを感じますか。

片岡 急いでいる大量の案件を時間内に終わらせることができたときや、税関との折衝でこちらの説明が伝わって許可を取得したときなどは達成感を感じますね。それはチームワークがあればこそだと思います。社員にはそれぞれ得意分野があり、教え合い協力し合つて、何百件という輸出申告を時間内に

終わらせる。お互い聞きやすく、情報交換のできる良い雰囲気職場ですね。

——これからの目標はありますか。

片岡 日本通関業連合会で女性通関士のワーキンググループがあり、全国の女性通関士が集まって会合を開いていて、私も参加しています。いかに通関士の認知度を向上させていくかなどについて意見を出し合い、いろいろな活動を進めています。通関士の担っている大事な役割を、世間一般の方々にもっと知っていただきたいですね。

常に新しい情報に接し、世の中とともに動く通関士

——通関士のお仕事の魅力は何ですか？

片岡 社会のいろいろな情報がすぐに入りますし、それを活かせる仕事です。常に新しい情報が入ってくるというのは新鮮で、それまで知らなかった世界もわかる。女性も子育てしながら長く続けていける仕事だと思います。女性ならではの得意分野—化粧品や衣類、食品などの品目—もたくさんありますし、それを活かせる面白い職業ではないでしょうか。

——どういう人が向いていると思われませんか。

片岡 何事にも興味を持てる人、好奇心の強い人ですね。また、チームワークが大切なので、コミュニケーション力の高い人は向いていると思います。

自分が輸出通関した材料(生地)が海外で加工後輸入され、それが商品洋服)になって店頭で並んでいるのを見ると嬉しくなったりします。社会に役立つ仕事だと思えます。

測量、登記によって 物事の問題を解決していく



いぐち・ゆうすけ ●1977年東京生まれ。高校卒業後測量の専門学校に進学。土地家屋調査士の資格を取得。現在、東京都葛飾区立石で井口工務所の三代目として測量、登記、建築設計等の事業を営む。土地家屋調査士のほか測量士、一級建築士、マンション管理士、宅地建物取引主任者の資格も有する。

インタビュー

土地家屋調査士

井口雄介さん

土地家屋調査士法人井口工務所 代表社員

井口さんは、地元の葛飾区立石に根差した土地家屋調査士法人を営んでいます。土地家屋調査士は、土地の売買に際して必要な測量、登記などを行う専門職ですが、最終的に問題を解決することが仕事であり、そのための手段としてそれらのことを行うというスタンスだと井口さんは言います。関連するさまざまな知識・スキルも必要になってきます。

土地家屋調査士の家に生まれ、 自分もその道に

——現在までのご経歴を教えてくださいませんか。

井口 祖父がこの事務所を創立しました。父もその仕事を継ぎ、私が物心ついた頃にはこの仕事をやるもんだという感じになっていましたね。私には職業選択の自由はなかったのではないかな（笑）。

父は私にこの仕事をやってくれと言った覚えはないと言ってますけれども、それが親の教育というものだった

測量と登記

——土地家屋調査士のお仕事とはどういったものなのでしょうか。

井口 大きく分けて測量と登記という二つの仕事があります。測量の仕事で多いのは、土地を売却するのに土地の面積がこうになっているという図面を作ることです。次に買う人と隣地所有者のトラブル防止に必要なものです。隣の人に声をかけて、境界の位置を確認して図面を作る。道路でよく見かけるとは思います。測量の機器等を

のではないのでしょうか。逃れることのできないルールが敷かれていたというか。だから、どうしてもこの仕事をやりたいと思つて始めたわけではないです。でも、結果的に今まで20年近くやってますから、まあ嫌いな仕事ではなかったんでしょうね。実は若い頃に車やバイクが好きで、そういう関係の仕事をしたみたいなのをちらっと言つたときに、親に嫌な顔をされたという記憶があります。

それで、高校卒業後に測量の専門学校に行き、土地家屋調査士の資格を取るのに必要な勉強をしました。19歳くらいで初めて試験を受けましたが、22歳の時に合格しました。

使つて行います。

また、登記の例としては、建物を新築したときは、こういう建物を建てました、と法務局に登記をしなければいけないので、その書類を作つて申請するという仕事があります。

登記するところまでを期日に合うように完了させるわけです。そのためにいろいろな人と関わります。不動産屋、弁護士、税理士、司法書士、地主、不動産投資家、ハウスメーカー、工務店などといった方たちと付き合い合います。

基本的に葛飾区内で仕事をしていきます。近辺だと役所の対応の仕方もわかっていきますし、地場産業としての仕事をしていきたい、と思つていきます。

——お仕事で大変なのはどのようなことですか。

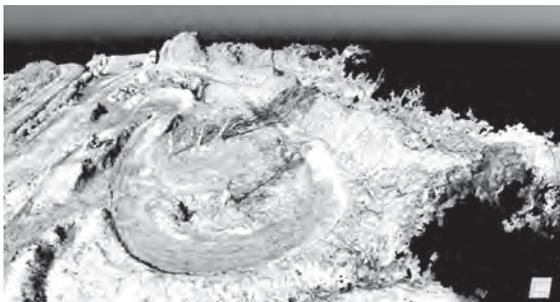
井口 まず、ミスなくやらなければいけないことです。書類では一字一句間違えてはいけません。例えば、斉藤さんの「斉」の字でもいろいろな字がありますよね。また、測量するときも隣さんに協力していただいでやるので、そこはすごく気を使うところです。取引の関係者なら「この日集まつてください」と言えば来てもらえますが、隣に住んでいるだけでもと関係のない人に協力してもらうわけですから、スケジューリングもその人の都合に合わせてなければなりません。

測量の現場では、やはり夏は暑く、冬は寒いですし、現場仕事はそれなりにキツイですね。売却時に測量するの



◀ドローンで事務所上空を360°カメラにより撮影したもの

▼ドローンによる測量のための画像の一部



で、更地のときもあれば建物がびっちり立っている状態でやるときもあり、2メートル以上の塀の上に登らなければならぬこともあります。

——普段どのようなことを心がけていらっしゃいますか。

井口 初めて来てくれた不動産屋さん、仕事が早いからいいと言ってるピーターになっていただくことが多いんです。この仕事はある程度期間がかかるものなので、仕事を止めないよう心がけているんです。忘れて置いたままにしまったり、忙しくて手を付けないでいたりということがないように。常に現場を動かしているようにする。それが早いという評価につながっているんだと思います。自分のやっていることは間違っていないんだな、と思っていて嬉しですね。

問題を解決していくために自分で考え、実行していく

——今後の課題はありますか。

井口 うちの事務所は、データをクラウドに上げてスマホでも見られるようにしていますし、職員同士チャットを使ってやりとりを進めるといった形を整えています。業界としてはソフトも含めてあまりIT化が進んでいないんですよ。最近ドローンによる測量を始めています。何百枚も撮影してパソコンで解析してデータ化する。まだ業界でもやられ始めている段階ですね。私は土地家屋調査士の仕事をするというより、この資格を使って物事の問題になっていることを解決していくと

いうスタンスでいるんです。例えば、土地を売りたいけど境界が決まっていけないので売れない、売るためにはどうすればいいかというのを考える。確定測量をするのが自分の仕事というより、売買をするに当たってその一部である測量を担当しているのであって、最終目標は売買の完結やその後境界紛争にならないことである、と。

ここで何をやればいいのか、何を求められているのかということ、お客さんが全部を言ってくれるわけではない。それは自分で調べ、自分で考えてやらなければいけないところなんです。何かの問題を解決するのが仕事だとすれば、解決するために必要なのは考える力と実行する力。実行する力を得るためには、スキルを身につけるということですね。

若者へのメッセージ

——若い人へのメッセージをお願いしますか。

井口 土地家屋調査士は、法律の知識、コミュニケーション能力、技術的なこと、力仕事、パソコン作業など、いろいろなスキルが必要で、仕事としてバランスがとれていて、面白みのある業界なのではないかと思えます。仕事自体は難しくて大変なこともありますけれど、何か一つでも引かかるといけば、あれば、まずそこから入っていけば、その他の知識、スキルなどは徐々に身につけていけばいい。不動産とか建築に興味のある方もいいかもしれないですね。関連した隣接業種の知識は、当

然必要になってきます。

実は私も40歳になって気づいたんですけれど、仕事選びと言っても、まず自分のことを知らないと思っんです。自分が何者なのかを知るところから始めてもらいたい。例えば、長所短所も含めて自分の特徴なんだから、好きなこと嫌いなこと何でもいいので全部ばーつと書き出してみる。自分ってこんな人だったんだという自己分析をする。

次に世の中のことを分析してみる。時代に逆行する仕事をする、一生涯命やっても下りのエスカレーターに乗っているようなもので苦労するわけです。うまくいかないものはうまくいかない。だから、上りのエスカレーターになっているところなのかどうかを見極める。一般的に言われているからじゃなくて、自分で考えて上りなのか下りなのかを見る。周りの状況の判断をしたうえで職業の選択をする。

職業選択をするのも、給料がいいからとかいうんじゃなくて自分が夢中になれるかどうか。夢中になってできるものに出会ってほしい。夢中になってできるものなら給料が安くたって気にならないと思っんです。お金を使う暇ないです。必死になって働くのではなくて、夢中になってやるって感じですかね。夢中になって仕事をすれば、同業者で一目置かれる存在になる。それによって収入はその後に必ずついてきます。夢中になれるものを探すためには、やはり自己分析と世の中の分析が必要になってくるのではないのでしょうか。

高精度レーザー微細加工技術の歩みとともに



おまた・けいいち ●1963年神奈川県生まれ。大学卒業後、レーザー加工会社に入社。レーザー加工機に関して開発からオペレーション、メンテナンス、営業等幅広い業務に携わる。その後、現会社の前身会社に入社。長年の経験で蓄積されたノウハウのデータベース化、見える化を推進、論文として発表する等、後進の指導・育成にも尽力している。

インタビュー

レーザー加工機オペレーター 小俣恵一さん

株式会社リプス・ワークス 受託加工グループ グループ長

小俣さんは、レーザー加工が産業化した初期の段階から30年以上技術を磨き、レーザーの微細加工利用の道筋を拓いてきました。その日本トップレベルのレーザー微細加工技術は、幅広い業界の顧客から信頼を得ています。確かな成果を生み出した優れた技能は、「令和元年度東京都優秀技能者（東京マイスター）」として表彰を受けています。

「から仕事を覚え、 レーザー加工技術の最前線へ」

——もともと、レーザー発振器やレーザー加工技術に関心がありました。レーザー加工機に専攻しました。いわゆる情報処理ですね。当時はまだMS-DOSの時代で、卒業論文はプログラムをコードで書くのではなくフローチャートを書くことによって作るというものでした。コンピュータの道に進まなかったのは、学生時代、アルバイト先のレーザー加工会社で、仕事が非常に面白く、先輩

が親身になって指導してくれたり、私も社員以上に働いていたりして、結局その会社に就職することにしたためです。
——レーザー光線は有名ですが、レーザー加工機とは何でしょうか。

小俣 切削や旋削のように削る工作機械ではなく、素材に直接触れることなく非接触で加工する工作機械です。具体的には、コンピュータで軌跡を制御して、鋼板を複雑な形状に切断したり、穴あけしたりするのが一般的です。その他にはレーザーの照射によって溶接や表面改質なども可能です。また、加工可能な素材も守備範囲が広く、鉄板、ステンレスはさることながらプラスチックやセラミックなどの加工も可能です、オールマイティです。

また、加工品質はシャーリングやプレス機械といった機械式のせん断ではないため、切断面に生じるささくれやバリが少なく良好な切断面を得ることができるといった特徴があります。また、切断と同時に溶接することも可能なため、工程改善にもつながります。

弊社では、世界でも極めて精度の高い「超短パルスレーザー加工機」の開発から、それを用いた加工プロセス開発をしています。

——超短パルスレーザー加工機というのはどのようなものですか。

小俣 先ほど説明したレーザーは、パワーが数百ワットから数十キロワットの連続したレーザーです。弊社の超短パルスレーザーは、数十ワット程度のパワーですが、10ピコ秒（1ピコ秒：0.000000000001秒）という非常に短いパルスで発振しているため、秘めているエネルギーとしてはギガワット級になります。このレーザー光を0.01ミリ程度まで絞って加工プロセスを開発しています。超短パルスレーザー発振器は、いろいろな種類がありますが、弊社は、グリーン光を発生させる発振器を搭載しています。

加工機はコンピュータ制御でマイクロメートル（1000分の1メートル）といった単位の微細加工ができます。私はその機械の開発から完成まで携わりました。超短パルスレーザー加工は、組成を一気に蒸発させるため、熱影響が少ない微細加工ができます。例えばマッチの先など燃えやすい素材は普通の加工だと当然燃えますが、この加工では燃えずに文字を彫る等の微細な加工ができます。従来のレーザーでは不可能であったガラスなどの脆性材料でも材質を問わず加工することが可能です。自動車関連や半導体部品関連会社の顧客の研究開発の仕事での依頼が多いですね。

——レーザーを使用した製品でレーザーディスクというのがありましたね。

小俣 私はレーザーディスクの製作には携わりませんでした。それに傷を付ける仕事をやりました。現在でもさまざまな会社や研究機関から依頼が来ますが、超短パルスレーザー加工機を使用して製品に意図的に傷を付けるのです。

超単パルスレーザー加工機により指先ほどのガラスにも加工が可能となる。これは4×4ミリの石英ガラス(板厚0.5ミリ、穴あけφ0.09ミリ、100穴)。



例えばレーザーディスク、現在ではブルーレイディスクですが、普通に表面に傷が付くと音声なり映像が飛びますよね。それを実証するのです。つまり、どのくらいの長さでどのくらいの深さの傷が付くと製品に影響を与えるのか、表面にミクロンの傷をつけるようになるのか、製品として大丈夫なのかということを検証しているのです。

傷を付けるというのは、ありとあらゆる業種から依頼がありますし、最近多いのはテクスチャーというもので、表面に模様をつけて摺動性や撥水性を施しています。

30年の間、レーザー加工機の進歩とともに「あれはできないか、これもできないか」という顧客の期待に応えようとしてきたことで、現在の私たちがいると思います。

機械からの言葉を聴く

——もともと「ものづくり」には興味があったのでしょうか。

小俣 実家が製材業で、木材、工具、工作機械は子どもの頃から身近にあり、常に触れていたもので、素養はあったのでしょね。それが社会人になり役に立っていると思います。

仕事のこだわりとは工具あつてのものである、という工具の大切さは父から教えられた気がします。

——レーザー加工機は非常に高価で高精度というイメージがありますが、開発はもちろん、メンテナンス等も大変なのではないですか。

小俣 数ミクロンの加工をするわけですから、当然機械自体も高精度ですね。

ですから、その機械から発せられる言葉を聴かないと、今どうなっているのかわからないのです。

刃物もそうでしょうけれども、「切れが悪いぞ」とか、加工機でも「真つすぐ動かない」とか「ポイントがずれている」というのは、加工機を目で見て追いかけていかなければわかりません。ミリの世界でさえ手加工では無理ですし、ミクロンやサブミクロンの世界になると機械あつてのものです。最先端の加工になればなるほど、機械がどれだけ調子がよいか、機械が何を語っているのか、機械からの言葉を聴き、そこを見極めるのが私たちの使命だと思います。

後進育成、技能継承のために

——現在はどのようなお仕事をされていますでしょうか。

小俣 去年までは7〜8割は加工機に携わっていましたが、今は部下に任せ、全般的に育成に力を注いでいます。誰しもだと思えますが、人にやってもらうより自分でやったほうが早い。そのもどかしさの中、技能・技術をいかにわかりやすく伝えていくか、ですね。

——そうした苦勞も今回の東京マイスターの受賞理由になつていと聞きました。

小俣 超短パルスレーザー加工機は、大手の加工機メーカーも出していませんので、評価も加工精度も何もない状態でした。加工機のいろいろな要素、パワー、パルス周波数、スピード等を素材毎にまとめ、データベースとして構築したのです。非常に苦勞しました。レーザー発振器メーカーにも協力して

もらいました。日本には発振器を製造しているところはなかったもので、ドイツまで行きました。現地のラボで技術者の方と話し、実験をして、自分のやっていることが間違っていないんだということを確信しましたね。

——今後の抱負はいかがでしょうか。

小俣 後方支援をしていると、今まで第一線に立っていたらわからなかったことが見えてきます。また、加工では技術のプロセス開発をまだまだ続けていきたいですね。もっとこうしたら効率的に加工ができるのではないかとことです。

また、ほとんど誰もやっていない3次元の加工ができないか、という課題に取り組んでいきたい。現在2次元加工が主なので、個人でも会社でも究極の課題です。

——これから社会へ旅立とうとしている若者へのメッセージをお願いします。

小俣 30年以上この仕事に携わり、「何こともあきらめない」をモットーに、「できません」と言わずにお客様の要望に伝えてきました。要望の多いお客様からも自分は育てられてきたと思っっています。

「木だけ見ないで森を見なさい」と最初に入社した会社の上司に言われ、肝に銘じてきましたが、それは物事を通り一遍に考えないで、多面的に見て判断する、ということにつながります。オモテから見ただけでなく、ウラから見たりナナメから見たりすることが大事だ、ということをこれから社会に出る若者に伝えたいですね。

改訂版
発刊

5訂版 キャリアデザイン概論

本間啓二・金屋光彦・山本公子 共著

A5判 200ページ/定価 1,870円(本体 1,700円)/ISBN978-4-87563-270-2

若者のキャリア形成を支援するため、職業を通して社会参加していく意義や職業に対する意識を高め、自らの職業適性に合わせたキャリアデザインができるようにサポートするガイダンス・ブック。

働く意義、自己理解の理論と方法、職業適性の理論と方法、職業世界の情報、キャリアデザインの考え方と方法、具体的な就職活動への臨み方などをまとめた、大学・短大、専門学校でのキャリアデザインの授業に最適な一冊。

5訂版では、最近の状況を踏まえて内容を更新。



もくじ

第1章 人はなぜ働くのか

- 第1節 人はなぜ働くのか
- 第2節 働く意味
- 第3節 働き方のさまざまと働く未来
- 第4節 若者の働く問題

第2章 自分を知る

- 第1節 自分を知る
- 第2節 自己理解の方法
- 第3節 チャレンジ自己分析

第3章 適性とキャリア選択

- 第1節 適性の考え方と職業適性
- 第2節 厚生労働省編一般職業適性検査(GATB)の考え方と見方
- 第3節 職業レディネス・テスト(VRT)の考え方と見方
- 第4節 VPI職業興味検査の考え方と見方
- 第5節 KN式クレペリン作業性格検査の考え方と見方
- 第6節 キャリア・インサイトの内容と見方

第4章 職業世界を知る

- 第1節 産業と職業の情報
- 第2節 免許・資格の必要な職業
- 第3節 職業を知るには
- 第4節 職業の分析
- 第5節 業界研究・企業研究

第5章 キャリアデザイン

- 第1節 キャリアデザインとは
- 第2節 キャリアデザインの考え方と手法

第6章 就職活動に臨む

- 第1節 企業の採用活動と求められる人材像
- 第2節 就職活動に臨む
- 第3節 就職活動の流れ
- 第4節 採用選考
- 第5節 メンタルヘルスとストレスマネジメント
- 第6節 働くときに知っておきたい法律・制度

発行

一般社団法人 雇用問題研究会

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-14-5 日本橋Kビル2階

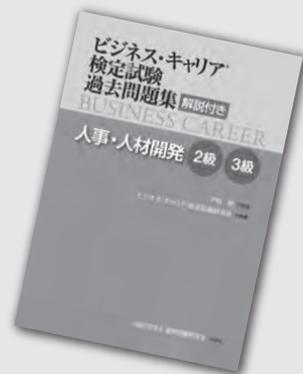
●電話 03-5651-7071 ●FAX 03-5651-7077

●ホームページ <http://www.koyoerc.or.jp>

●お申込みは、ホームページ、FAX、お電話で。一般の書店での取り寄せ、Amazon等のネット書店でのご注文もできます。

An Introduction to Career Design

ビジネス・キャリア[®] 検定試験 過去問題集 解説付き



BUSINESS CAREER

過去の出題から100問をピックアップ*。問題、解答、出題のポイント、解説を収録。(*を除く。) テキストと併用しながら学習できる、ビジキャリア合格のための受験者必携書。

編著 ● ビジネス・キャリア[®]検定試験研究会

好評発売中

営業 2級 3級

A5判/298ページ/定価 2,860円 (本体2,600円)
宮内洋喜 ● 監修
ISBN978-4-87563-705-9

人事・人材開発 2級 3級

A5判/382ページ/定価 2,860円 (本体2,600円)
木谷 宏 ● 監修
ISBN978-4-87563-700-4

マーケティング 2級 3級

A5判/344ページ/定価 2,860円 (本体2,600円)
庄司真人 ● 監修
ISBN978-4-87563-709-7

労務管理 2級 3級

A5判/380ページ/定価 2,860円 (本体2,600円)
廣石忠司 ● 監修
ISBN978-4-87563-703-5

生産管理プランニング 2級

A5判/330ページ/定価 2,640円 (本体2,400円)
渡邊一衛 ● 監修 *150問収録
ISBN978-4-87563-707-3

総務 2級 3級

A5判/396ページ/定価 2,860円 (本体2,600円)
藤永伸一 ● 監修
ISBN978-4-87563-701-1

生産管理オペレーション 2級

A5判/344ページ/定価 2,640円 (本体2,400円)
渡邊一衛 ● 監修 *150問収録
ISBN978-4-87563-708-0

企業法務 2級 3級

A5判/590ページ/定価 3,520円 (本体3,200円)
牧野和夫 ● 監修
ISBN978-4-87563-702-8

生産管理 プランニング オペレーション 3級

A5判/374ページ/定価 2,860円 (本体2,600円)
渡邊一衛 ● 監修 *プランニング100問、オペレーション100問収録
ISBN978-4-87563-706-6

財務管理 2級 3級

A5判/398ページ/定価 2,860円 (本体2,600円)
山田庫平・清松敏雄 ● 監修
ISBN978-4-87563-704-2

近刊 経営情報システム 以下続刊予定

発行

一般社団法人 雇用問題研究会

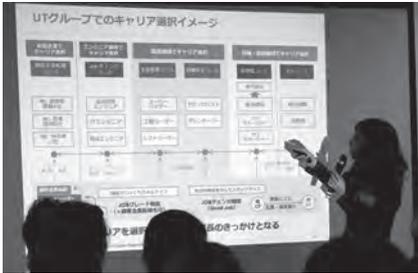
〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-14-5 日本橋Kビル2階

●電話 03-5651-7071 ●FAX 03-5651-7077

●ホームページ <http://www.koyoerc.or.jp>

●お申込みは、ホームページ、FAX、お電話で。一般の書店での取り寄せ、Amazon等のネット書店でのご注文もできます。

多彩なサポートとキャリア形成制度で、労働者本位の環境を実現



「グッドキャリア企業アワード2018」大賞を受賞

UTエム株式会社は、1995年に設立されたエイムシーアイシー有会社（構内作業業務派遣・請負事業を母体とし、2012年に現在の社名となりました。同社は2018年には製造業派遣業界で、社員数、売上高でトップの地位を獲得するとともに、厚生労働省主催の「グッドキャリア企業アワード2018」において、大賞を受賞（厚生労働大臣表彰）しています。

同社の最大の特徴は、採用者を「無期正社員」として雇用し、手厚いサポートとキャリア形成の機会を制度化していることです。同社では、2015年の改正労働者派遣法によって「派遣期間の見直し」や「派遣労働者に対するキャリア支援の義務化」が実施されることとなる以前から、こうした取り組みを行ってきました。

また、同社では社員を30名から数百名のチーム単位で派遣することを基本としています。チーム内にはリーダーも含まれ、現場で働く技術職員たちの状況把握と何か起きたときの迅速な対応ができるようになってきます。

UTグループの上席執行役員でキャリア開発部門長の山岸建太郎さんは、「まとまった人員を派遣できることと個々の社員に対する様々なサポート体制を構築していることが弊社の強みであり、またそれに見合った人事マネジメントを実施しています。それが『グッドキャリア企業アワード2018』受賞の背景にあります」と話します。

充実した研修体制とキャリア形成の仕組みで、社員をバックアップ

同社では、毎月500〜1000名規模で社員を迎えています。導入研修では、コンプライアンスや社内ルールのほか、製造業におけるポータブルスキル（職種を超えて通用する普遍的な能力）の習得も重要視されます。実際に就労した後も、各段階に応じた生産管理や設備保全に関する様々な研修が用意されています。

さらに現場の技術職社員が直面する悩みの解消やスキルアップに重要な役割を果たしているのが、キャリアパートナー（キャリア支援者としての研修と社内認定を受けた有資格者）です。

入社時の受け入れ研修や派遣先に合わせた研修を担当するほか、社員の間でも研修を話し合う機会があります。キャリアパートナーと社員はオンラインでつながることもでき、独自仕様の「UTアプリ」で随時連絡が取れるようになってきました。

「キャリアパートナーによって、定着率の向上が図られています」（山岸部門長）。

キャリアアップのための制度の一つとして、グループ内のエンジニア職への転職を支援する「One UT」が設けられています。専門スキルや資格取得に向けた研修があり、受講料

や受験費用は会社が負担しています。ユニークなのは、「Next UT」と呼ばれる顧客企業への転籍支援制度です。派遣先である顧客企業がUTエムの社員を「自社の社員として採用したい」と要望頂いた場合に転籍を支援するものです。

山岸さんは「弊社からすれば優秀な社員を失ってしまうわけですが、本人のキャリアアップに役立つなら応援しようという考え方によるものです」と語っています。

さらに、社員自身が自ら管理職や執行役員などに立候補できる「UTエントリー制度」もあります。勤続年数や経験、年齢などを問われることなく、自らのチャレンジを受け入れる機会となっています。

UTグループの経営・人材管理部門PR・ERユニット担当部長の山田由理さんは「弊社では、現場の技術職社員は、ずっと固定的に派遣現場で働くという概念はありません。本人のキャリアへの意識を高めることによって、多様な選択が可能です。事実、弊社の執行役員約半数は派遣現場を経験した者です」と話しています。

UTエムでは、ほかにも社員のモチベーションを高め、キャリア形成に結びつけるさまざまな仕組みが用意されています。

同ユニットでアドバイザーを務める清水園江さんは「人材派遣事業を行う上で、そこに働く社員については、一般企業同様、スキルアップやキャリア形成を支援するのは当然、という考えに立っています」と話しています。

人材マネジメントのパラダイムシフトに向けて

(2)「合理的配慮」が示唆するもの



田沼泰輔

株式会社ダイハチリティ総合研究所
代表

ためま・たいすけ●2005年、企業内大学「博報堂大学」（通称）創設メンバーの一員として初代キャリア開発部長就任。同社の人材育成・キャリア開発に携わる。2012年、株式会社博報堂DYアイ・オー代表取締役社長に就き障害者雇用を推進。2019年5月株式会社ダイハチリティ総合研究所を創業。米国CCE Inc.認定GCDF-Japanキャリアカウンセラー・全国重度障害者雇用事業所協会理事・事業構想修士（専門職）。

障害という特性のある人材（以下「障害者*1」という）の就労にまつわる環境は、いまだ大きな変化の渦中にある。2016年、わが国では「改正障害者雇用促進法」が施行され、働く意欲のある障害者の就労環境改善に向け、さまざまな取り組みが、今も進行中である。

その中で「障害者雇用の質の向上」について検討が始まったことに、筆者は注目する。昨年度、厚生労働省が「今後の障害者雇用促進制度の在り方に関する研究会」を主催した。そこでは「障害者が、希望や能力等に応じて活躍できることが当たり前の社会」の実現に向け「キャリア形成の促進」の必要性が謳われている。従来、雇用率制度に基づく障害者就労人口の「量の拡大」が段階的に図られてきた。加えて、その「質の向上」、すなわち働くことに関まつわる当事者の多様なニーズへの対応について、ようやく議論が始まったのだといえる。

だが、所詮まだ端緒にすぎたばかり。おそらくこれから中長期に渡り、検討は続いていくのであろう。

そんなさなか、小さな取り組みだが、首都圏に事業所を持つ特例子会社7社が集まり、合同で各社の主任・係長クラス約30名を主対象としたキャリア・プラン研修を行っている。今年度で四回目となる。この研修の特徴は、障害の有無に関係なく多様な人材が混在し、参加していること。研修そのものの枠組みは、一般的なキャリア・プラン研修とほぼ同様である。自己理解、環境理解を踏まえて、最終的にキャリアに関する将来ビジョンと行動計画を

策定するというプロセスである。違いは、参加する障害者の特性に応じた配慮を、できる限り細かく提供している点である。例えば聴覚障害者向けに、手話通訳士を複数名帯同したり、車椅子を使う障害者のために、比較的に広めのスペースを確保している。

また、昨年、発達障害者向けに「レゴ® シリアスプレイ®*2」を活用したキャリア・プラン研修のプロトタイプ版を開発、少数の当事者を集め試験的に実施した。同障害者の特性を踏まえたとき、レゴ®シリアスプレイ®のアプローチは、当事者の自己理解促進や意思決定支援に有効かもしれないと思いついた。

いずれもキーポイントは「合理的配慮*3の提供」にある。対象者への効果を最大限高め、個別の特性に応じて適切な配慮を施すことに注力する。

残念なことに、障害者のキャリア形成支援について、戦略的な取り組みを行っている事例を、あまり聞かない。障害者を人的資産として、本気でとらえている事業者は、まだまだ多くはないのかもしれない。

障害者を対象としてSDGsの目標8*3が掲げるディーセントワークの実現に、真正面から向き合う企業が現れることなど、大いに期待するところである。

「合理的配慮」について、異なる視点からもう少し考えてみたい。就労分野での障害者への合理的配慮の提供は、法律上、事業主の義務である。だが、配慮が必要なのは、障害者に限ったことではない。今後、組織におけるダイバーシティが、ますます進展していくことは明白である。人材が多様化

し、働き方も多様化していく潮流の中で、能力開発、キャリア開発分野においても人材への合理的配慮の提供は、必須要件になっていく。換言すれば、個別化が進む組織で働く人材に、さらなる成長を期待するのであれば、それぞれの個性に配慮した機会の提供が求められていくことだ。

子育て世代で両立支援を望む従業員を例にとる。こうした人材が、所属先から能力開発機会を得る際、最大限の効果が獲得するために、どのような配慮が必要なのか。子育てに関連した時間的制約があることなどは、容易に想像がつく。かつては事業主主導の条件に従業員側が適応しなくてはならなかった。が、これからは事業主が、従業員の個別の事情や要請に応じて、合理的配慮を提供することが求められていく。

産業社会の中で、未だマイノリティとして位置づけられる障害者。彼らが抱える固有の事情に対する配慮の中に、これからの人材マネジメントにおける革新を進めていくための、重要なヒントが潜んでいる。

*1 表記について法文等で使用される「障害者」を使用した。
*2 レゴブロックを使って個人の内観を可視化し、グループの共創力を高めるための手法。
*3 就労分野では、障害者の均等な機会や待遇の確保、または障害のある労働者が有効に能力発揮する上で、支障となっている事情を改善するために事業主が講ずべき措置。
*4 指標の一つに「2030年までに、若者や障害者を含むすべての男性および女性の、完全かつ生産的な雇用およびディーセント・ワーク、ならびに同一労働同一賃金を達成する」がある。

開設から54年、 千葉北西地域の公共職業能力開発施設

我孫子高等技術専門学校 (ちばテク我孫子校)

設置・運営 ● 千葉県
所在地 ● 千葉県我孫子市久家684-1
訓練課程 ● 普通課程 N C機械加工科・造園科
短期課程 造園科・事務実務科
訓練期間 ● 普通課程 1年
短期課程 6カ月(事務実務科は1年)



千葉県立の高等技術専門学校

千葉県立の公共職業能力開発施設は、市原・船橋(本誌2012年秋季号参照)・我孫子・旭・東金・障害者の高等技術専門校の6校体制である。我孫子高等技術専門校は、県北西地域の人材確保・育成の拠点として公共職業訓練と企業支援(在職者訓練)を体系的に実施している。

元々は昭和40年我孫子職業訓練所として開設され、我孫子専修職業訓練校への名称変更を経て、昭和53年4月に現校名となった。JR常磐線我孫子駅から徒歩25分の場所にある。

訓練校の理念

訓練校の理念について校長の園田孝氏は「地域産業の持続的発展に寄与するため、企業の動向やニーズに対応すべく、本校では一人でも多くの有能な技能者を育成し、社会へ輩出することを目標にしています」と語る。

訓練科は、求職者、離職者向けに、N C機械加工科、造園科(1年課程)、造園科(6カ月課程)と知的障がいのある方対象の事務実務科の4科を設置している。

教育訓練の特長・取得できる資格

N C機械加工科は、CAD(コンピュータ支援製図システム)やNC(数値制御)工作機械等を活用し、設計から製造までを一貫して行えるエンジニアを養成するコースである。

訓練第一課長の永山栄一氏は、「本校にはマシニングセンター3軸機・5軸機を始め、企業ですぐに役立つ最新の加工機がそろっています。実技のほかにも、設計や加工に必要な知識を学んで習得し、幅広い応用力を養うことができます。企業からは、訓練の有無で定着率に差が出るとも伺っておりまして」と語る。

造園科(1年)は、主に若年者を対象として、造園に必要な設計・施工・樹木管理等のほか、CADによる住宅庭園の設計や伝統的な造園技術に関する知識と技能を学ぶ。技能五輪全国大会への出場や庭造りを通じて物づくりの楽しさを経験し、将来の造園工事の現場管理・監督者を目指す。

造園科(6カ月)では、主に離職者を対象として短期間で即戦力となるよう、作庭に必要な技能と庭園管理の技能、関連する機械類の操作法と安全教育をいくつかの作業に分類し、習得する。

事務実務科は、知的障がいのある方を対象にパソコン操作、書類の作成と整理など、事務系の職業訓練を中心に実施している。

「全国に先駆け、障害者校ではなく一般校を活用している科です。事務系以外のさまざまな職種に対応できるように販売・物流業務実習や基本作業実習などの訓練も併せて実施しています。就職指導や修了後の定着支援も受けられますので、安心して訓練に取り組みます」(園田校長)

取得できる資格は、N C機械加工科は、CAD利用技術者試験、ガス溶接技能講習修了証、課程修了(技能照査合格)により技能士補等。造園科(1年)は技能士補(同右)、玉掛技能講習修了証等。造園科(6カ月)は、2級造園技能検定受験資格等。事務実務科は情報処理技能検定試験、日本語ワープロ検定試験等がある。

入校希望者へのメッセージ

N C機械加工科修了生からは、「私は幼い頃からものづくりが大好きで、高校当時の担任教師の紹介で入校しました。訓練期間中は、毎日が充実していて、あっという間に1年が経ってしまいました。担任の先生はとても親身になってくださり、おかげで今の勤務先にも就職することができました。本校では就職に必要ないろいろな資格を取得することができ、自然と自分のやりたいことが見つかると思います」とのコメントも。

千葉県立の職業能力開発施設も大きな再編があり、設置科目も改廃があった。

「本校は、立地条件から茨城県からの入校者も多くいます。現代版「ものづくり」の基幹となるコンピュータを活用したN C機械加工科をはじめ、各科は充実した設備と熱心な指導員の教えにより、就職先の各企業から高い評価をいただいています。ぜひ早期就職を目指している方の入校をお待ちしています」(園田校長)

三位一体のキャリア支援で 社会に羽ばたく女性を育成



群馬県立女子大学

キャリア支援センター 専任講師 太田千秋

1 群馬県立女子大学、キャリア支援センター

本学は、1980年に創立された群馬県南部の佐波郡に位置する学生数約千名の小規模大学である。

現在は文学部(国文学科、英米文化学科、美学美術史学科、総合教養学科)、国際コミュニケーション学部(英語コミュニケーション課程、国際ビジネス課程)の2学部と大学院の2研究科を擁しており、学生の県内出身者率は約45%と、県外出身者が県内出身者を越えているのが特徴である。

本学は2014年にキャリア支援センター(以下、センターと表記)を設置した。これは、今日の複雑化多様化する社会の中で、学生が目的意識を持って自らの将来のキャリアを考え生涯を通じた就業力を身に付けることにより、社会的職業的な自立を図ることを支援するためのキャリア教育と就職支援業務を総合的に担う組織である。

センター長(学長)のもと、運営については、各学科等選出の教員、センター専任教員、職員等で構成されるセンター運営委員会が月1回開催され、主にキャリア教育、進路・就職支援事業についての審議と進捗状況、学生の進路決定状況の報告、情報共有等がなされる。

2 全学的キャリア支援の推進…2つの特徴

(1) センター所属専任教員の配置
本学は、社会の変化に迅速に対応し

つつ本学学生の専攻・特性・地域性等に合わせたキャリア支援体制を構築するため、2015年からセンターに専任教員を配置した。専任教員は、キャリア教育科目、キャリア支援事業・個別支援の企画立案、個別相談等を担当している。施策としては、センター開講科目の設置、進路・就職支援事業(正課外)の拡充(年間20種類以上)、学内施策参加企業数増(2019年度:158社)、ハローワークやジョブカフェとの連携、個別支援体制の強化等を推進してきた。

(2) 教員・職員・キャリアコンサルタントが連携する三位一体の個別支援

自宅外生が半数以上を占める本学では、小規模大学ならではのきめ細やかな目配りで、教職員が学生の学び・生活・諸活動を支えている。進路・就職支援では、教員・職員・キャリアコンサルタント(以下、相談員と表記)が連携を取り、学生をひとりも取りこぼすことなく卒業年次の3月まで伴走する個別支援が特徴である。

センターでは、学生の主体性を尊重し、学生が必要とするタイミングで希望する支援を行う体制を整えており、学生によって活用する内容や度合いは様々である。毎年千件を超える個別相談は、相談員4人で対応している。

早期から進路選択行動を促すため、2・3年生全員に生活状況や進路希望等を確認する面談を実施しており、こ

の情報と進路希望台帳の情報を個別支援の際に活用する。進路希望台帳は、進路に関する個人情報に個別相談の履歴、支援事業への参加状況を追加記載していくもので、職員はこれで3年次以降の就活等進捗状況を把握する。

4年次からは、センター運営委員とゼミ担当教員、職員、相談員が三位一体で個別情報を確認しつつ、学生の様子に配慮しながら見守り、進路決定まで伴走する。これら支援の結果、センター設置以降の就職率は常に大卒文系平均を上回り、実就職率^(注)は設置前の86.8%から93.3%にアップした。

3 社会の役割を担う人材の育成

センターでは、学生が自ら決めた進路に納得して社会に漕ぎ出すことを大事にしている。納得した進路というのは、自分で考え行動し選び取った進路にはかならない。そのプロセスには想像以上に時間がかかるものであり、社会に目を向け自らのキャリア形成や進路選択を考え始めるのは早いに越したことはない。低学年からのキャリア教育に加え、今年度から支援事業でも低学年への働きかけを強化し、4年生が就活ピアサポーターとして後輩の支援にかかわる取り組みも始めた。

センターでは、今後も学生が学内外の学びや活動を通して支援を受ける側から支援をする側へ成長する過程を見守り、主体的に役割を担う人材として社会に羽ばたけるよう、働きかけを行っていく。

虐待をなくせ！

東洋大学経営学部 非常勤講師
公益財団法人 日本進路指導協会 理事・調査部長

千葉吉裕

痛ましい虐待死事件が後を絶たない。昨年3月、東京都目黒区の船戸結愛ちゃん(5)、今年1月、鹿児島県出水市の大塚璃愛ちゃん(4)と千葉県野田市の栗原心愛ちゃん(10)、6月、北海道札幌市の池田詩梨ちゃん(2)、9月、東京都江東区の山田隆太郎ちゃん(3)のかけがえのない命が虐待によって奪われた。これだけの虐待死の影には死に至らない虐待があり、さらに多くの心に傷を残すような虐待があるに違いない。

そこで、「児童虐待防止対策の強化を図るための児童福祉法等の一部を改正する法律」が、本年6月19日に国会で可決・成立し、公布された。その法律では、「児童のしつこい体罰の禁止」「児童相談所介入の強化」「学校教育委員会、児童福祉施設の職員の守秘義務」「DV対応機関との連携強化」「虐待した保護者に対し医学的・心理学的指導」「転居しても切れ目ない支援ができるよう関係機関との情報共有」など、児童の権利擁護、児童相談所の体制強化、関係機関間の連携強化の措置が講じられた。

文部科学省からは、学校が虐待の早期発見する可能性が高いことから、5月9日、「学校・教育委員会等向け虐待対応の手引き」が発表された。その中には、虐待リスクを確認できるようなポイントが示されている。

例えば、学校では体育の授業や身体

検査などで、素肌を露出する機会があり、そのような時に打撲傷、あざ、刺傷、やけどなどから、身体的な虐待を発見できるかもしれない。また、歯科検診や内科検診などで、治療が放置されている場合などネグレクトの可能性が考えられる。

また、衣服が不潔で、同じ服を汚れても着続け、におったり、汚れていたりしている場合や、季節に合わない服装、破れやボタンはずれがあっても直されていない場合、貧困が原因と考えられる人もいるかもしれないが、これもネグレクトが疑われる。昼食の時間、お弁当を買うことも持つてくることもできない場合や、家庭で十分な食事が与えられていないために給食などで過度に食事を取る場合もあり、そのような時もネグレクトを疑ってみる必要がある。

これまでの虐待死事件でも、虐待を隠すために家に子供を監禁する場合があります。長期間にわたって不登校になる場合がある。さらに、保護者に接する際、保護者の様子や、場合によっては家庭訪問によって家庭の様子を知ることがもできる。教師はこのように様々な機会に観察できることから、虐待の早期発見には欠かせない存在になっている。ただ、教師が不審に感じて、確信を持っていないことが多く、通告を躊躇してしまいうことも考えられる。

そこで、2004年8月13日、厚生

労働省より、児童虐待に係る通知で、「法の趣旨に基づくものであれば、それが結果として誤りであったとしても、そのことによって刑事上、民事上の責任を問われることは基本的には想定されないものと考えられる」と記されており、疑わしい場合も通告することが義務づけられている。

2015年7月1日からは、児童相談所全国共通ダイヤルが3桁化され、「189(いちはやく)番」が運用開始となり、全国の児童相談所が24時間365日対応してくれる。さらに今年12月からは通話料が無料化された。189への電話は、虐待が疑われる通告だけではなく、保護者が子供に当たってしまいそうな心情になった時や、知り合いで子育てに悩んでいる場合なども含めて連絡するよう促しており、専門家が対応してくれる体制が整えられている。

内閣府の「少年非行事例等に関する調査研究報告書」によれば、非行に至った少年の多くが、虐待を経験している実態が示されている。虐待防止は子供たちの非行防止にもつながっており、犯罪の減少に関わってもくる。

11月25日に発表された野田市の栗原心愛ちゃんの児童虐待死亡事例検証報告書でも、最後に「救える命だった」と記されており、二度とこのような事件が起こらないよう、皆で防いでいきたいと思う。

東京都スクールカウンセラー（公認心理師／臨床心理士）

金屋光彦

家庭崩壊の真相

— 子どもたちの自己肯定感を考える その7 —

1 家族は一つのまとまりを持ったシステム

人が病気になると、種々の症状が出る。家族も病むと、弱い部分が問題行動という症状を出す。通常それは子どもである。その子の問題行動は家族病理の結果であり、家族システムを維持するための必要悪になっていることが多い。この家族病理の症状を代表して出す人を、臨床心理ではIP（Identified Patient）と呼ぶ。

家族は、問題行動を起こした子どもを「困った子だ」として、その改善を試みる。しかし、その子の問題行動は、家族関係の力動の歪から生じているので、その試みは対症療法に過ぎない。一時的に問題行動が消えても、また同じような新たな問題行動が生じることになる。そういう悪循環を繰り返すうちに病理が深まり、家庭崩壊が一挙に進むことがある。

2 金属バット殺人事件とその家族

1980年11月29日の深夜、川崎市に住む予備校生I・N（当時20歳）が、就寝中の両親を金属バットで撲殺した。頭はぱっくりと割れ、血が天井まで吹き飛び、現場は凄惨を極めたという。非行歴の全くない従順で礼儀正しい予備校生による裕福なエリート家庭に起こった凶悪事件は、当時の全国を震撼させた。

彼の家族は両親に4歳上の兄の4人家族。東大卒の父は、当時旭硝子の支店長、兄も早大卒で日立製作所に勤務していた。彼も当然のように有名大への進学を期待された。3人の家庭教師がついた中3時代を経て、早稲田を目指し2浪中だった。だが、成績は伸びず次第に予備校へも行かず引きこもりがちになる。兄に比べできの悪い彼を、父親はたびたび「お前はクズだ」とののしった。専業主婦の母親はそんな彼をかばい世話を焼き、「ママ」「Nちゃん」と呼び合う仲良しだった。ある時野球好きの彼が、幼友達がコックになると聞いて「うらやましいなあ」と語ったという。また、母親には自衛隊員か力士になりたいと言ったこともあった。

3 I・Nの犯行前日までの実情

2浪しても成績不振から抜け出せないI・Nは、苦しさから次第に現実逃避が目立っていく。まず酒浸りになる。親の財布からキャッシュカードを抜きとり、ウイスキーを買い、自室でこっそり飲んだ。また、部屋から勉強本が消え、月刊プレイボーイ等の男性誌がそれに代わった。予備校へは行かず、パチンコや映画館、本屋での長時間の立ち読みで時間をつぶした。極めつけの良い子だった彼の浪人生活は、完全に行き詰まってしまふ。ここにきて彼の自己肯定感も底をついていただろう。

4 夫婦関係の実情

殺害された東大卒の父親（48歳）と専業主婦の母親

（46歳）は、郷里が同じ山口県。母親は江戸時代から続く名門酒造家の5人姉妹の次女。二人は見合結婚後、養子縁組をする。家庭では夫が妻に靴下まで履かせる亭主関白。高額な給与から妻には生活費だけ渡し、あとは自分で自由に管理し使っていたという。

二人の仲は事件2年前から悪化し、寝室も別になる。きっかけはI・Nの受験失敗だった。「お前の頭が悪いからだ」と夫が妻を責めた。十分な生活費も渡されず、妻は豚肉の細切れしか買えなくなる。それを見た知人は「裕福なはずなのに、質素なお金がないのか」と首をかしげたという。またこの頃から、夫は小料理屋に足しげく通った。妻の目の前で電話しその女主人とデートの約束をした。「俺に女がいるんだ」という妻への嫌がらせだった。夫婦間葛藤は頂点に達していた。

5 犯行前日の小事件

11月28日深夜、I・Nは酔って帰った父親に叱られる。財布から抜き取ったキャッシュカードで1万円を引き出したことがバレたのだ。食堂でも、母親に同様の注意をされる。いつもかばってくれる母親がこの時ばかりは違っていた。彼はひどいショックを受けた。母にも裏切られ孤立感が極まった彼は、自室でウイスキーをあおる。そこへ再び現れたのが父親だった。「おまえ酒まで飲んでたのか！ うちに泥棒を飼っておくわけにはいかない。明日すぐ出ていけ。お前はクズだ」と脇腹を思い切り蹴られ椅子ごと転げ落ちた。そしてこの2時間後、彼は金属バットを振り下ろすのである。それは、20年間親にがんじがらめにされてきた良い子が、初めて自己主張をした瞬間でもあったと言えるだろう。

6 事件を防ぐ手立ては何だったのか？

I・Nは自らの手で両親を亡き者とした。それによって夫婦間葛藤も親子の軋轢もなくなり、家庭も崩壊した。犯行後「大好きな母親をなぜ殺したのかわからない」とI・Nは語ったという。

彼が壊したかったものは、家庭でも親でもなかったはずだ。壊したかったのは、彼自身を押し殺し、勉強に縛り付ける偏差値神話だったのであろう。有名大学から大企業というルールに乗れという生き方の呪縛、それを一挙に振りほどきたかった一撃が金属バットだった。

この一撃の前に、もし両親自らが解放してあげれば、事件は防げただろう。病理の核心は、彼の問題行動ではなく、両親の狭く硬直した価値観にあった。だが、この解放作業を共に行うには、夫婦関係があまりにも冷え切ってしまったもいたのだった。

“なりたい自分”を実現するために 向き合うこと



佐藤寿子

専門学校日本デザイナー学院 / 日本写真芸術専門学校 学生課キャリアセンター
2級キャリアコンサルティング技能士
国家資格キャリアコンサルタント

■留学生の就職活動

昨今、外国人の採用はニュースでも話題になりますが、本校でも留学生向けの求人はいくつもあります。留学生にとって就職活動は、日本独特の職業観を初めて知る機会であり、留学生生活の大きなイベントの一つとも言えるのではないのでしょうか。

■文章構成の例として「自己PR」

留学生は自己PRを、日本語の習熟度などといった結果について書かなければならないと思うような傾向が見られます。これは企業が求めている内容と異なります。能力や姿勢など、学生生活を通じてどう身につけてきたのかといったプロセスを踏まえて書いていくことが大切です。

また、自分自身をありのままに出すことに抵抗がある学生には、その必要性を説明しながら、ライフラインチャートを書き、これまでの歩みを振り返るよう勧めます。その中で自身の成長に気づきを促し、自己PRの作成につなげていきます。

これらは、留学生に限らず日本人学生にも必要な能力です。実技が多い専門学校の特性上、文章を書くことなど、伝え方の重要性を意識した支援をしています。文章の捉え方などについては、キャリアコンサルタントでもある日本語講師の先生から助言をいただきながら、支援に活かしています。

留学生の「好きを実現するために来日した」「技術を習得して成長したい」といった熱意に心を動かされることや、日本の素晴らしさにあらためて触れる機会も多いので、支援するたびに相互理解の大切さに気づくきっかけももらっています。

■Bさんの場合

Bさんは在学中に様々な経験を重ね、ファッション・フォトグラファーになりたいと強く願っている留学生でした。

学内の撮影サークルに参加し、企業や他分野の専門学校と共同制作をする機会にも恵まれました。チームで力を合わせて作品を作り上げることに魅了され、学びを深めていく中で、目指したい目標を見つけました。彼女は控えめな性格でありながら、街中で知らない人に声を掛けて撮影に挑戦するなど、周囲を巻き込む力をつけていきました。

就職活動当初、第一志望の企業に落ちてショックを受けていましたが、すぐに気持ちを切り替えて次の選考に向けて対策を練り直しました。目標とするフォトグラファーのたどった道を参考に今やるべきことを逆算し、研究を深めました。加えて、自らを客観視し、「順序立てて話すこと」といった苦手なことを克服するよう努力しました。理想とするクリエイターに近づくために、私は求められる態度や話し方などを伝えながら、一緒に対策を考えました。

その結果、雑誌の撮影を多く手掛けている撮影スタジオのスタッフとして内定を獲得。貪欲に就職活動を続けた中で手にした結果でした。

■内定後のフォローも

コマース・フォトグラファーになる道は、撮影スタジオ勤務等を経て独立や、個人フォトグラファーのアシスタントとして師事後、独立などの方法があります。

ただし、留学生は就労ビザが必須となりますので、学んだことを活かせる業務で企業に採用していただく必要があります。学生によって持っているビザの種類も異なりますので、個別に対応にあたっています。この1年で、新しい就労ビザ制度の開始に伴い、在留資格「技術・人文知識・国際業務」に対する審査の厳格化を感じています。

現状を把握し、関係機関と連携を取りながら、企業と学生の架け橋になることを心掛けています。日本が誇るカルチャー分野での活躍を熱望する留学生の夢を実現するために、引き続き邁進していきます。

Bさんのポートフォリオ



大学等関係者
向けセミナー

申込み
受付中

大学・短大キャリアセンターでの就職支援者のための RCC就職レディネス・チェック を活用した就職支援プログラムセミナー

大学生・短大生の就職活動サポートツール「RCC就職レディネス・チェック」を大学や短大でどのように活用できるかを学び、就職支援プログラムとの関連や、効果的な活用方法について考えます。



日時
2020年1月23日(木)
13:00-16:00

対象
大学・短大のキャリア支援・就職指導担当者及び相談業務担当者
ハローワーク等相談機関の相談業務担当者

講師
雇用問題研究会 普及促進課

会場
雇用問題研究会 会議室

定員
16名

受講料
6,500円 (税込み・資料代を含む)

内容

- 1 開発の目的
- 2 RCCの実施と解説
・実施と採点、ワークブック記入
・尺度の解説
- 3 RCCの活用方法
・活用場面とそのポイント
- 4 RCCの活用について
・事例発表：成城大学
「就職支援におけるRCC就職レディネス・チェックの活用」
*RCCを活用したワークショップ形式の講座の一部を体験することができます。
・質疑応答
・RCCと他の支援ツールとの組み合わせ
VRT/GATB

*内容は変更することがございます。

RCC就職レディネス・チェック

ペーパー版/Web版

監修 ■ 渡辺三枝子/松本純平

学生1人ひとりのキャリア発達をサポートし、成長を促します。

学生が、自分の就職活動への取り組み状況(準備度)を客観的に点検し、モチベーションをアップさせたり、行動を促すことで、今後の活動に活かすことを目的としています。

就職のためのステップである「就活」という課題に取り組む体験を、知恵を身につけ、成長するための学習の機会とする、という考え方に基づいて開発されました。



ペーパー版



Web版

スマホ
対応

●詳しくはホームページでご確認ください。お申込みもサイト内専用フォームからできます。

一般社団法人 雇用問題研究会 <http://www.koyoerc.or.jp> 〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-14-5 ●電話 03-5651-7072

好評
配信中

[CCA] キャリアコンサルタント向け知識講習 (Web)

1対1の対人支援にとどまらず、組織開発・組織活性化、人事との協業といったテーマを真正面から見据えたWeb学習(厚労大臣指定キャリアコンサルタント更新講習)です。実践に基づいた講師陣の知見や豊富な事例が、実際のキャリア支援の現場で役立てられることを強く意図しています。

講師：慶應義塾大学名誉教授 **花田光世**先生 武蔵大学客員教授 **北浦正行**先生 ほか



詳細・その他学習情報は学習専用サイト **CCAラーニング&トレーニング** で検索

特定非営利活動法人キャリアカウンセリング協会 研修担当 **Tel 03-3591-3569**

CCAは、「プロ(専門家)のキャリアカウンセラー/キャリアコンサルタント」の養成、スキル向上、指導者養成までを、体系的に行っている専門機関です。



VRT 職業レディネス・テスト

VOCATIONAL READINESS TEST

編著 ■ 独立行政法人 労働政策研究・研修機構

対象 ■ 中学・高校・高専・専門学校・短大・大学・職業訓練校・職業相談機関等

職業への興味・関心を通じて「自分自身」を考えることをサポート

VRTでわかる職業への興味と自信の方向

- R 機械や物を対象とする具体的な活動
- I 研究や調査などの活動
- A 音楽、美術、文芸など芸術的な活動
- S 人と接したり、人を援助する活動
- E 新しい企画を考えたり、組織を運営する活動
- C 定まったやり方に従って行う事務的な活動

VRTでわかる日常生活での興味の方向

- 情報 知識や情報、データに関わる活動
- 人 人と直接関わる活動
- 物 機械や道具などのものを扱う活動

1名分料金(税込)

中学生 高校生	● 問題用紙	} 300円	} 640円
	● 回答用紙(中学生用/高校生以上用)		
	● 結果の見方・生かし方		
	● コンピュータ判定料		

大学生 社会人	● 問題用紙	} 360円	} 660円
	● 回答用紙(高校生以上用)		
	● 結果の見方・生かし方		
	● 大学生等のための職業リスト		
	● コンピュータ判定料		

● 手引.....1,430円

